

具体的に上げて欲しいテーマがあれば記入してください。

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療の講義、とくに始めたばかりで苦労している方のお話が聞けるとありがたい。</li> <li>・地域共生社会への対策についてのお話（国の説明、リレートーク）</li> </ul>
2	在宅医療・介護連携における診療報酬と介護報酬をもう少し詳しく時間をかけて説明していただくチャンスが欲しいです。
3	在宅医療を担うDrの減少が危惧されている。どのように対策をとればいいのか。横須賀だけでなく。
4	地域住民を巻き込んで在宅医療・介護の連携を進めている事例
5	在宅医療を地域に浸透させるためのノウハウ等・・・事例を通じて。
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被在宅医療者・被介護者防止対策</li> <li>・在宅医療に対する看護師のあり方（医療提供）</li> <li>・尊厳死</li> </ul>
7	在宅での生活を重視する割に施設入居する方の在宅での情報が、施設のSWが聞き取りに行っても得る情報くらい（少ない）のが現状。もちろん、在宅の生活が送れる事が多くの人ニーズであるのも理解できるが、施設に入居しなければならない方もいるのが、現実である。要するに、その際の連携が強化されれば、入居される方の尊厳も守られ、いままでの経緯（取組み）を連携されることも、やはり、大事だと思う。という事は、在宅復帰加算の逆バージョンを考えてもらえると良い。
8	診療報酬、介護報酬に関する解説
9	認知症の方々（自分も含む）災害であるという考え方を実施して、被災者への取組を行っていく必要がある。
10	仕事柄「認知症対策」というのが一番お聞きしたい事が沢山ある。帰宅願望が強い入居者などの対応に困っている。“一緒に散歩につきあう”などテレビとかではよくやるが、施設では実際問題、困難なことも多い。（すでに行ってはいるが・・・）もっと現実的な意見や対策を教えてください。「理想」だけのようない意見ではないものを。
11	リレートークで具体的な活動が見えたこと。発表された取組は市独自のものが多かったが、小さい市町が共同で事業を行っている例についてもあつたら聞いてみたい。
12	多職種連携の成功事例
13	連携のプロセス、具体的事例など。 グループワークの形が出来るとより意見交換しやすいのでは。
14	多職種連携について 行政、地域、大学との連携
15	地域包括ケアはまちづくりだと思う。
16	地域ケア会議について
17	住民が参加するまちづくりでの地域包括ケアの推進など
18	世代を超えたまちづくりや地域の自主組織を育てながらのまちづくり

具体的に取り上げて欲しいテーマがあれば記入してください。

19	大学での地域への貢献のあり方
20	総合事業・地域支援事業はチェックリスト者を対象に、介護予防事業は第一号被保険者全般を対象とし、高齢者が身近なところで小さな幸せを感じられるものであるように思う。具体的にどのような事業がどのように整備されつつあるのか知りたいと思っています。
21	①～③はH30.4.1までの実施が義務づけられると思いますが、実施するだけではなく、「質の向上」が重要かと思います。厚労省・厚生局の皆様は一定程度“あるべき姿”を提示いただけると助かります。
22	厚労省の構想をかみくだいて、市民にも届くような取組。保険者、県に任せないで。
23	病院向けの経営シミュレーションなど、国がすすめる医療機能分化後の姿で収支があうのか。
24	自立支援型ケア会議の設置に関して専門職をどう説得していくか。
25	当市は15～64歳が減り続け3人に1人が65歳以上となっている。若者が生まれ育ったまちに戻り活性化していくような取組の成功事例を学びたい。いかにお金をかけずにまた長く取組が続けられるかも大切。
26	暴言・暴力の時の対応、事故防止、スピーチロック。
27	生活支援サービスの取組
28	各自治体の少子化対策の事例
29	どのようにボランティアを育成したら良いか具体案を教えてください。
30	事例トークとてもよかったです。是非今後も継続して欲しいです。
31	医療情報と介護情報、後期高齢者医療の情報、マイナンバー、その情報が統合されるのか、その可能性と展望。
32	他のセミナーで九州のどこかの県のはいかい訓練の取組がとてもよかったので、また聞きたいし、多くの人に聞いて欲しい。